

ICT土工サンプルデータ 修正内容

2018/09/20

修正箇所

- 修正対象となるデータ
 - サンプルデータⅡ出来形（グリッドデータ化）
 - ◆ ③算出結果
- 修正対象外のデータ
 - サンプルデータⅠ出来形（実在点）
 - サンプルデータⅡ出来形（グリッドデータ化）
 - ◆ ①計測点群データ（不要点除去後）
 - ◆ ②3次元設計データ.XML
 - サンプルデータⅢ数量

修正箇所（③算出結果）

- 修正対象ファイル
 - 合格点群.xlsx及び、不合格点群.xlsx
- 修正対象となる計算手法
 - 「差の平均値」 「差の最頻値」
- 修正したシート
 - 差の平均値
 - 差の最頻値
 - 帳票化後の結果

① 設計標高の修正

- 差の平均値、差の最頻値シート

- 一部データにおいて、設計標高値が期待通りの数値になっていなかった箇所を修正。

修正前				修正後				
	A	B	C		A	B	C	D
1	X	Y	設計H	1	X	Y	設計H	H
2	0.5	0.5	100.000	2	0.5	0.5	100.000	100.011
3	0.5	1.5	100.000	3	0.5	1.5	100.000	100.009
4	0.5	2.5	100.000	4	0.5	2.5	100.000	100.012
5	0.5	3.5	100.000	5	0.5	3.5	100.000	100.009
6	0.5	4.5	100.500	6	0.5	4.5	100.000	100.008
7	0.5	5.5	101.500	7	0.5	5.5	100.500	100.503
8	0.5	6.5	102.500	8	0.5	6.5	101.500	101.497
9	0.5	7.5	103.500	9	0.5	7.5	102.500	102.500
10	0.5	8.5	104.500	10	0.5	8.5	103.500	103.504
11	0.5	9.5	100.000	11	0.5	9.5	104.500	104.499
12	1.5	0.5	100.000	12	1.5	0.5	100.000	100.008
13	1.5	1.5	100.000	13	1.5	1.5	100.000	100.009

② 差の最頻値における修正

- 差の最頻値シート

- 同数になる最頻値が想定数以上であり、計算外となってしまう最頻値データが存在していた。
計算外となった値が、選ばれるべき最頻値の場合、期待値では無かった為、この現象を修正。

	修正前 同数最頻値数の上限 (7列を想定)							修正後 実際の同数最頻値数 (11列)			
差の最頻値	最頻値候補1	最頻値候補2	最頻値候補3	最頻値候補4	最頻値候補5	最頻値候補6	最頻値候補7	最頻値候補8	最頻値候補9	最頻値候補10	最頻値候補11
0.03	0.019	0.017	0.014	-0.003	-0.009	0.03	-0.007				
0.041	0.019	0.017	0.014	-0.003	-0.009	0.03	-0.007	0.041	-0.011	0.011	0.018

③ 標高、最頻値の修正による帳票の修正

● 帳票化後の結果シート

- 修正後の結果とし「最大値」「最小値」の測定項目結果を修正。

差の平均値

測定項目		規格値
法面 標高較差	平均値	0mm ± 70
	最大値	8mm ± 160
	最小値	-6mm ± 160
	データ数	150
	評価面積	150
	棄却点数	0 0.3%以下 (0点以下)
	規格値 50% 以内 個数	150
	規格値 50% 以内 割合	100%
	規格値 80% 以内 個数	150
	規格値 80% 以内 割合	100%



差の平均値

測定項目		規格値
法面 標高較差	平均値	0mm ± 70
	最大値	5mm ± 160
	最小値	-6mm ± 160
	データ数	150
	評価面積	150
	棄却点数	0 0.3%以下 (0点以下)
	規格値 50% 以内 個数	150
	規格値 50% 以内 割合	100%
	規格値 80% 以内 個数	150
	規格値 80% 以内 割合	100%